

JOHANNUS

ヨハネスオルガン

取扱説明書

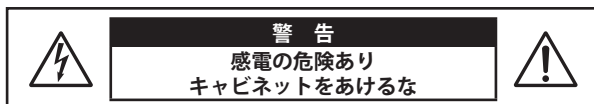
STUDIO 260 スタジオ 260

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。お子様のご使用になる場合は、お子様の安全のために、保護者の方の管理の下、お子様に注意事項を守っていただきますようお願いいたします。

■ 製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店、またはお近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。



このマークは感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■ 警告と注意、記号表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告



電源は必ずAC100Vを使う

100V以外禁止

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。



付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。



電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



本機を分解、修理、改造しない



本機を落としたり、強い衝撃を加えない

落とさない

怪我および破損の恐れがあります。



この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない
故障・感電・発火の原因になります。



水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。



異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする
水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。



照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない



使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- ・窓際など直射日光の当たる場所
 - ・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
 - ・戸外など極端に温度の低い場所
 - ・極端に湿度の高い場所
 - ・砂やホコリの多い場所
 - ・振動の多い場所
 - ・本体の放熱を妨げる様な周囲が囲まれた場所
- 故障の原因になります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。



電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。



指をはさまれないよう注意

鍵盤蓋で手や指をはさまないように注意する
鍵盤蓋はゆっくり取り扱ってください。勢いよく動かすと手や指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。



ぶつからない

本機のカド部でけがをしないよう注意する
頭等をぶつくと、けがの原因になります。



手や足を
入れない

鍵盤蓋やペダルの下等、本機の隙間に手や足を入れない

はさんだり擦れる恐れがあり、けがの原因になります。



持ち運びは2人で行う



電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。



お子様の行動に十分注意してください

お子様が使用する場合や周囲にお子様のいる場所での使用においては、大人の監視のもと十分注意し使用してください。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。



使用しない

イスは次のように使用しない

- ・イスを不安定な場所に置かない
- ・イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない
- ・イスには2人以上で座らない
- ・イスに座ったまま高さ調節をしない(調節機能付きの場合)
- ・ネジの緩んだイスに座らない

イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。



不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。



タコ足配線禁止



ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。



ディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けない

傷の発生や破損の原因となります。



強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えない

傷の発生や破損の原因となることがあります。

■ お手入れについて

本体 乾いた柔らかい布で拭いてください。

ベンジンやシンナーで本機を拭かない 色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

* お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■ 保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 銘板について

器種名、製造番号等の情報は、製品下面の銘板に記載されています。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

1 安全	3
1.1 安全な設置	3
1.2 楽器使用上に関する記号	3
1.3 取扱い説明に関する記号	3
2 設置	4
2.1 据付と接続	4
2.1.1 オルガンの据付	4
2.1.2 譜面台の取り付け	5
2.1.3 足鍵盤の取り付け	5
2.2 電源オン	6
2.3 移動と保管	6
3 各部の名称	6
3.1 主な構成	6
3.2 パネル部	7
3.3 周辺機器との接続	8
3.4 外部接続	8
4 操作	9
4.1 ボリューム調整	9
4.2 エクスプレッションペダル	9
4.3 オルガン様式	9
4.4 リバーブ	10
4.5 アンビエンス	10
4.6 ストップ	10
4.7 カプラー	10
4.8 アクセサリー	11
4.9 プリセットメモリー	12
4.10 キャプチャーメモリー	12
4.11 トランスポーズ(移調)	13
4.12 クイックアクセス	13
5 ヨハネスメニュー	14
5.1 アンビエンス	14
5.2 リバーブ	15
5.3 オーケストラ音色	15
5.4 音律	16
5.5 チューニング	16
5.6 ヘッドフォン/Aux	17
5.7 ベース/ブリリアンス	17
5.8 デモ曲	17
5.9 システム設定	18
5.9.1 エクスプレッションペダル	18
5.9.2 キーボード設定	18
5.9.3 オルガン様式初期設定	19
5.9.4 コーラスコントロール	19
5.9.5 風量	19
5.9.6 キーボリューム	20
5.9.7 Aux-inリバーブ	22
5.9.8 ディスプレイコントラスト	22
5.9.9 データダンプ	23
5.9.10 リセットメニュー	24
5.9.11 バージョン	24

6	メンテナンス、トラブルシューティング、保証	26
6.1	メンテナンス	26
6.1.1	キャビネットのお手入れ	26
6.1.2	鍵盤のお手入れ	26
6.2	不具合	26
6.3	保証	26
7	MIDI（ミディ）インプリメンテーション	27
7.1	MIDI（ミディ）インプリメンテーションチャート	27
7.2	MIDI（ミディ）仕様	28

1 安全

1.1 安全な設置



- オルガンを安定した水平面に置きます。
- 100V電源にコンセントを挿します。
- 使用しない時はスイッチを切って下さい。
- 湿気の多い場所に置かないで下さい。
- 水に濡らさないで下さい。
- 取扱説明書をお読みいただき、注意深く扱って下さい。
- 取扱説明書はオルガンと一緒に保管して下さい。
- このオルガンはヨハネス社が認めた技術者のみが修理出来ます。
- このオルガンは静電気に敏感な部品で構成されています。
- ヨハネス社に認められていない技術者が修理した場合、保証が打切られます。

1.2 楽器使用上に関する記号



注意



感電に注意



静電気に弱いため、取扱い注意

1.3 取扱い説明に関する記号



注意または重要な情報



注記

2 設置

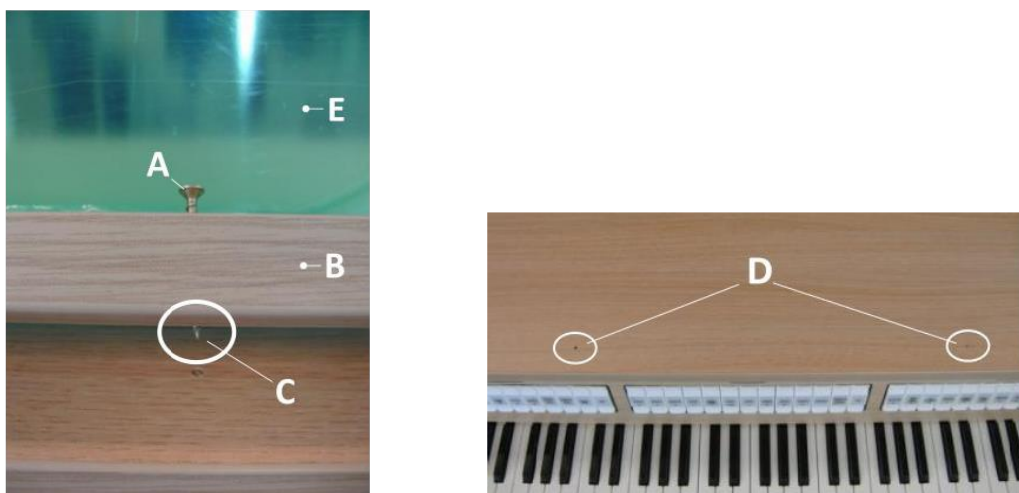
2.1 据付と接続

2.1.1 オルガンの据付



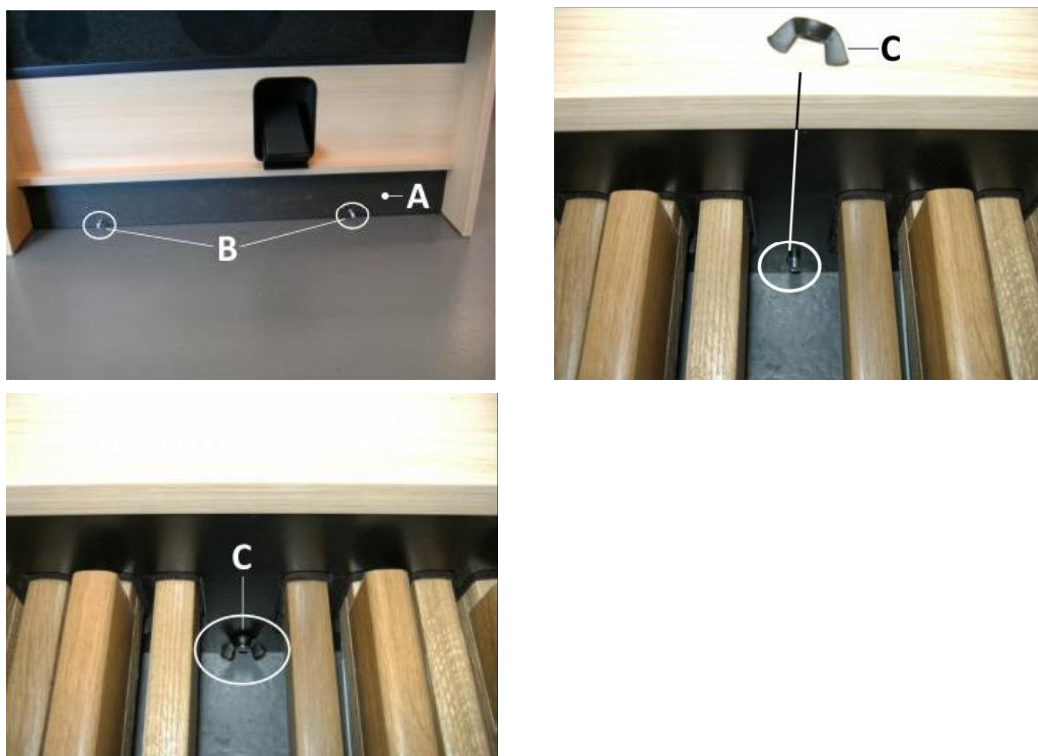
1. しっかりした平面上に置きます。
2. 譜面台(A)を取り付けます。2.1.2項を参照してください。
3. 足鍵盤(D)を取り付けます。2.1.3項を参照してください。
4. オルガンの椅子を足鍵盤をまたいで置きます。
5. オルガンに表示されている電圧とコンセントの電圧が一致していることを確かめてください。
棚板下の製造表示シール(B)で確認できます。
6. コンセントに電源コードのプラグをしっかり奥まで差し込んで下さい。

2.1.2 譜面台の取り付け



1. 真鍮の皿目ネジ(A)を譜面棒(B)から先端が2mmほど出る(C)ように手で廻します。
2. ネジの先端が下穴(D)に入るように譜面台を正しい位置に置きます。
3. ドライバーでネジを締めて譜面台を固定します。電動ドライバーはお奨めできません。
4. 緑色の保護フィルム(E)をアクリル面から剥して下さい。

2.1.3 足鍵盤の取り付け



1. 足鍵盤を黒い前面カバー(A)の方に移動させます。ペダルのボルト(B)が5mmほど突き出ます。
2. 安全のため、オルガンと足鍵盤を蝶ナット(C)で固定してください。

2.2 電源オン

手鍵盤の右隣にあるON/OFFスイッチを入れます。
ディスプレイには右のように表示されます。
初期設定に時間がかかりますので少し待ちます。

Initializing...
Please wait

0ボタンと標準セッティングのボタンのランプが点灯し、
準備完了となります。
ディスプレイには右のように表示されます。

Rom. Center ◀ 85
Tr:0/440 M 1

2.3 移動と保管

運送する時と保管する時は、次の点に注意して下さい。

1. オルガン本体から、譜面台と足鍵盤を取りはずします。
2. 保管場所の相対湿度：40～60%で保管して下さい。

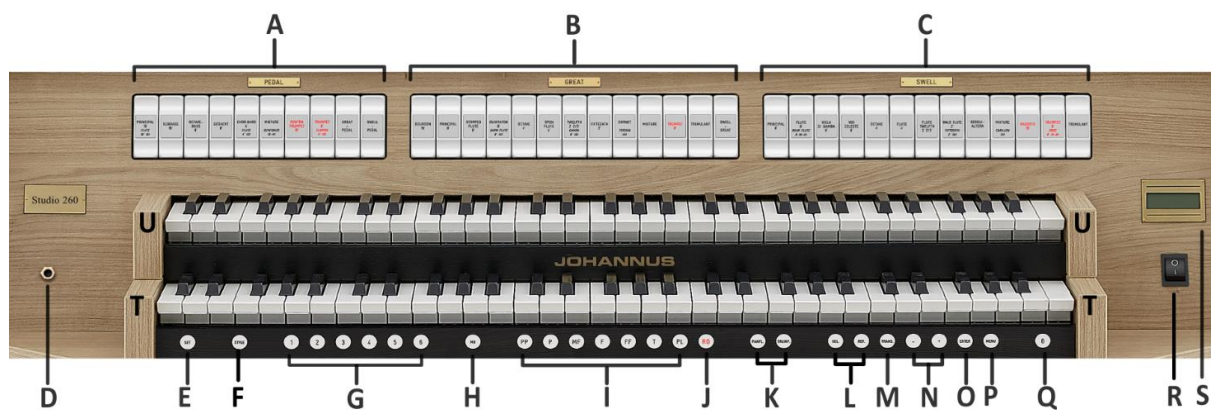
3 各部の名称

3.1 主な構成



- A 譜面台
- B スピーカー
- C 専用椅子
- D エクスプレッションペダル
- E 足鍵盤

3.2 パネル部



- | | | | |
|---|-------------------------------|-------|----------------------|
| A | ペダルストップ | L | VOL.: オルガン音量 |
| B | グレートストップ | REV.: | リバーブ音量 |
| C | スウェルストップ | M | TRANS.: トランスポーズ (移調) |
| D | ヘッドフォン端子 | N | - / + ボタン |
| E | SET: メモリーシステムセットボタン | O | ENTER: エンターボタン |
| F | STYLE: オルガン様式選択ボタン | P | MENU: メニューボタン |
| G | キャプチャーメモリー | Q | O: リコール/リセットボタン |
| H | MB: マニュアルベース | R | 電源On/Offスイッチ |
| I | プリセットメモリー | S | ディスプレイ |
| J | RO: リードオフボタン | T | グレート鍵盤 |
| K | PANFL.: パンフルート TRUMP.: トランペット | U | スウェル鍵盤 |

3.3 周辺機器との接続

オルガンに関連機器(例えば、MIDI機器や外部アンプなど)を接続できます。

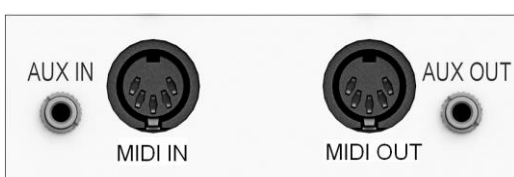


関連機器の添付説明書にしたがって設置してください。

1. オルガンと関連機器のスイッチをオフにします。
2. 関連機器をオルガンに接続します。
3. 関連機器のスイッチをオンにします。
4. オルガンのスイッチをオンにします。

3.4 外部接続

外部接続端子は演奏台下面の左側にあります。



MIDI IN:他のデバイスからMIDI信号を受信する入力端子です。

MIDI OUT:シーケンサーやパソコンに接続するMIDI出力端子です。

AUX IN:外部機器をオルガンのアンプに通して鳴らすためのステレオオーディオ入力端子です。例えばスマホやPCからのオーディオ信号を内蔵スピーカーで鳴らすことができます。この入力信号にリバーブをかけることもできます。詳しくは5.9.7項を参照してください。

AUX OUT:アンプやレコーダーなどの外部デバイスを接続するステレオオーディオ出力端子です。Volume、Bass、Brillianceが個別に調整できます。5.6項を参照してください。

ヘッドフォン端子:手鍵盤の左側にヘッドフォン端子があります。この端子はインピーダンス値が30オームかそれ以上のものに適しています(ヘッドフォンの仕様を確認して下さい)。Volume、Bass、Brillianceが個別に調整できます。5.6項を参照してください。



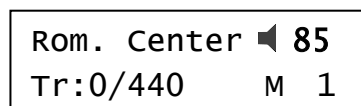
ヘッドフォンを使用する時、オルガン本体のスピーカーは自動的に消音されます。

4 操作

4.1 ボリューム調整

VOL.: オルガンの音量を調整します。VOL.ボタンを押してランプを点灯させ、- / + ボタンで音量を調整します。ENTERボタンを押すと調整した音量が保存されます。

音量はディスプレイのスピーカーアイコンの後に表示されます。
例えば、この例では85%です。



REV.: リバーブ(残響)の量を調整します。REV.ボタンを押してランプを点灯させ、- / + ボタンでリバーブ量を調整します。ENTERボタンを押すと調整したリバーブ量が保存されます。

イコライザー機能は5.7項を参照してください。

4.2 エクスプレッションペダル

エクスプレッションペダルで、スウェル鍵盤の音量か全体の音量かどちらかを変化させます。ヨハネスメニューを使って、オルガン全体の音量を変化させるゼネラルスウェルに設定の変更が出来ます。5.9.1項を参照してください。

エクスプレッションペダルを使う場合、スウェルストップの音量だけでなく音質も変化します。パイプオルガンのスウェルシャッター効果を再現しています。

4.3 オルガン様式

このオルガンには4つのオルガン様式があります。

- ・ROM(ロマンティック):旧教会(アムステルダム)のミュラーオルガン
- ・SYM(シンフォニック):アダマ オルガン(ラールテ)とカヴァイエ=コル オルガン(パリ)
- ・BAR(バロック):ジルバーマン オルガン(カトリック旧宮廷教会、ドレスデン)
- ・HIS(ヒストリック):ヒンツ オルガン(ボーフェンケルク、カンペン)

オルガン様式を変更するには、STYLEボタンを押して、- / + ボタンでオルガン様式を選択し、ENTERボタンを押して確定します。

リバーブもオルガン様式に合わせて変更されますが、これは変えることもできます。(4.4 リバーブ参照)

4.4 リバーブ(残響)

このオルガンには、12種類の実在する場所のコンボリューションリバーブが搭載されています。リバーブの種類を変更するには、REV.ボタンを押しながらSET(またはENTER)ボタンを押します。

次の12種類のリバーブが、それぞれのオルガン様式ごとに、ヨハネスメニューで選択できます。

- ・Mossley Hill, Liverpool, UK(モスリーヒル教会、イギリス/リバプール)
- ・Zuidervermaning, Westzaan, The Netherlands(ザウダーフェルマニ、オランダ/ウェストザーン)
- ・First UMC, Galveston, U.S.A.(第一統一メソジスト教会、アメリカ/ガルベストーン)
- ・Concert Hall, Worcester, U.S.A.(コンサートホール、アメリカ/ウースター)
- ・Frognerkirke, Oslo, Norway(フロググナー教会、ノルウェー/オスロ)
- ・St. Maartenskerk, Tiel, The Netherlands(聖マールテンス教会、オランダ/ティール)
- ・Holy Name Church, Manchester, UK(聖名教会、イギリス/マンチェスター)
- ・Oude kerk, Amsterdam, The Netherlands(旧教会、オランダ/アムステルダム)
- ・Kruisverheffingskerk, Raalte, The Netherlands(十字高揚教会、オランダ/ラールテ)
- ・Notre Dame, Paris, France(ノートルダム、フランス/パリ)
- ・Bovenkerk, Kampen, The Netherlands(ボーフェンケルク、オランダ/カンペン)
- ・Hofkirche, Dresden, Germany(カトリック旧宮廷教会、ドイツ/ドレスデン)

オルガン様式にリバーブを設定する場合は 5.2 リバーブを参照してください。

4.5 アンビエンス

アンビエンスは、コンボリューションリバーブと連携して、教会内のどの位置でオルガンの音を聴いているかを選択できる機能です。

次の4つから選択できます。

- ・Console: オルガンの演奏台
- ・Front: 教会の前方
- ・Center: 教会の中央
- ・Rear: 教会の後方

アンビエンスの設定はヨハネスメニューで行います。5.1 アンビエンスを参照してください。

4.6 ストップ

ストップは、タブレットスイッチ、プリセットボタン、メモリーボタンで動作します。

タブレットスイッチのランプが点灯しているストップが発音します。

ストップは、次の3つのグループに分かれています。

PEDAL: ペダル鍵盤(足鍵盤)に関するストップです。

GREAT: グレート鍵盤(下鍵盤)に関するストップです。

SWELL: スウェル鍵盤(上鍵盤)に関するストップです。

4.7 カプラー

マニュアルカプラー

SWELL - GREAT: スウェル鍵盤の全鍵をグレート鍵盤に連結します。

ペダルカプラー

GREAT - PEDAL: グレート鍵盤の全鍵をペダル鍵盤に連結します。

SWELL - PEDAL: スウェル鍵盤の全鍵をペダル鍵盤に連結します。

マニュアルバス(MB)

ペダルの1音がグレート鍵盤に連結します。グレート鍵盤で弾いている一番低い鍵だけがペダルからグレートに連結します。

MBボタンで、マニュアルバスを動作させます。もし和音を弾いていて、一番下の鍵を離鍵したときはマニュアルバス効果で連結していたペダル音は、次に低い鍵が押されるまで消音します。これは低音のジャンピングを防ぐためです。



足鍵盤を使用する際には、二重鳴りを防ぐためにマニュアルバスはオフにしてください。

4.8 アクセサリー

リードオフ (RO)

リードオフは全リードストップを一齐に消す効果です。このボタンがオンの間、リードストップは全て発音しません。このボタンをオフにすると、ボタンを押す前のリードストップの状態に戻ります。

ROボタンでReed Off効果を動作させます。

パンフルート(PANFL.)、トランペット(TRUMP.)

PANFL.ボタンやTRUMP.ボタンでオーケストラ音色をオンにします。

パンフルートとトランペットを特定の鍵盤に割り当てる

パンフルート音色を演奏する鍵盤を設定するには、SETボタンとPANFL.ボタンを同時に押します。次にパンフルート音色を演奏したい鍵盤(グレート、またはスウェル)の任意の1鍵を押します。この間ディスプレイには音色名が表示されています。トランペットも同様の手順で設定できます。この場合、SETボタンとTRUMP.ボタンを同時に押した後に、2つの鍵盤の中から任意の1鍵を押します。

リコール/リセット (O)

Oボタンで2通りのレジストレーションのキャンセルができます。

1. 短くOボタンを押す: 直前の操作をキャンセルします。
2. やや長めにOボタンを押す: 全てのレジストレーションをキャンセルします。

4.9 プリセットメモリー

プリセットメモリーを呼び出すには(PP)・・・(T)、(PL)ボタンを押します。これら7つのメモリーは、あらかじめ工場でセットされたもので、静かなピアノシモから強いトゥッティーや古典的なプレヌムまで、適切なストップの組合せをメモリーしています。

プリセットメモリーの呼び出し

プリセットメモリーボタン,(PP)・・・(T) (PL)を押します。発音するストップが点灯します。

プリセットメモリーの変更



プリセットメモリーの変更をすると、それまでに記憶されていたセッティングは失われますのでご注意ください。



プリセットメモリーにはどのようなセッティングもできますが、ボタンの文字に合ったセッティングをお勧めします。例えばPPボタンにはフォルテのセッティングではなく、ピアノシモ音色をセッティングすることをお勧めします。

1. 希望するストップを選びます。
2. SETボタンを押しながら、希望するプリセットメモリーボタン(PP・・・TまたはPL)のいずれかを押します。
3. SETボタンを離します。

4.10 キャプチャーメモリー

キャプチャーメモリーを使えば、ボタン一押しでレジストレーションを再現できます。

Rom. Center	◀ 85
Tr:0/440	M 1

キャプチャーメモリーには、125のレベルがあります。これらのレベルはディスプレイにM1～M125のように表示されます。各レベルにそれぞれ6個(1～6)のメモリーボタンがあります。750のキャプチャーメモリーが空きの状態で用意されていて、演奏者がプログラムできるようになっています。

キャプチャーメモリーの設定



現在セッティングしてある内容が消えますので注意してください。

1. 希望するストップを選びます。
2. SETボタンを押しながら - / + ボタンでメモリーするレベル(M1～M125)の1つを選びます。
3. SETボタンを押しながら、希望する番号のボタン(1～6)を押します。
4. SETボタンを離します。

キャプチャーメモリーの呼び出し

1. SETボタンを押しながら - / + ボタンで、ディスプレイ表示のレベル(M1～M125)を選びます。
2. 希望する番号のボタン(1～6)を押します。または - / + ボタンで1つずつ進めたり戻したりできます。

4.11 トランスポーズ（移調）

トランスポーズはピッチを半音ずつ(-8から+8の範囲で)移調します。トランスポーズの設定はディスプレイで確認できます。Tr: の後に数字で表示されます。

1. TRANS.ボタンを押します。
2. - / + ボタンで、ピッチを設定します。
3. 移調を記憶させる場合は、TRANS.ボタンが点灯している間にENTERボタンを押します。

Rom. Center ◀ 85
Tr:0/440 M 1

4.12 クイックアクセス

クイックアクセスは、オルガンのある特定の機能設定を簡単に呼び出す機能です。

リバーブ設定

ENTER(またはSET)ボタンを押しながらREV.ボタンを押します。この後は5.2 リバーブの手順3以降に従ってください。

チューニング

ENTER(またはSET)ボタンを押しながらTRANS.ボタンを押します。この後は5.5 チューニングの手順3以降に従ってください。

オーケストラ音色

ENTER(またはSET)ボタンを押しながらPANFL.またはTRUMP.ボタンを押します。この後は5.3 オーケストラ音色の手順4以降に従ってください。

5 ヨハネスメニュー

ヨハネスメニューでは様々なオルガンの機能が設定できます。

MENUボタンを押すと、ディスプレイにJohannus Menu: が表示されます。メニューを見るには、- / + ボタンを使います。表示されたメニューを選択するにはENTERボタンを押します。メニューのキャンセルや、ひとつ前に戻るにはMENUボタンを押します。メニューには次の項目があります。

項目		操作説明
Ambiance	アンビエンス	§ 5.1
Reverb	リバーブ	§ 5.2
Orchestrals	オーケストラ音色	§ 5.3
Temperaments	音律	§ 5.4
Tuning	チューニング	§ 5.5
Headphones/Aux	ヘッドフォン/Aux	§ 5.6
Bass/Brilliance	ベース/ブリリアンス	§ 5.7
Demo Songs	デモ曲	§ 5.8
System Settings	システム設定	§ 5.9
Expr. Pedals	エクスプレッションペダル	§ 5.9.1
Keyboards	キーボード設定	§ 5.9.2
Style Default	オルガン様式初期設定	§ 5.9.3
Chorus Control	コーラスコントロール	§ 5.9.4
Wind Distr.	風量	§ 5.9.5
Key Volumes	キーボリューム	§ 5.9.6
Aux-in Reverb	Aux-inリバーブ	§ 5.9.7
Display Contrast	ディスプレイコントラスト	§ 5.9.8
Datadump	データダンプ	§ 5.9.9
Reset Menu	リセットメニュー	§ 5.9.10
Version	バージョン	§ 5.9.11

5.1 アンビエンス (Ambiance)

アンビエンスは、コンボリユーションリバーブと連携して、教会内のどの位置でオルガンの音を聴いているかを選択できる機能です。オルガン演奏台、教会の前方、中央、後方の4種類から選択できます。

1. MENUボタンを押します。
2. ENTERボタンを押してアンビエンス機能に入ります。
アンビエンスの状態がディスプレイに表示されます。
3. - / + ボタンでアンビエンスを変更します。初期設定はCenter(中央)です。
4. ENTERボタンを押して確定します。
5. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Ambiance

Ambiance
Center (Def.)

6. ディスプレイには選択したアンビエンスが表示されてい
ます。

Rom. Center ◀ 85
Tr:0/440 M 1

5.2 リバーブ (Reverb)

12種類のコンボリレーションリバーブから選択できます。

1. 最初にリバーブを変更したいオルガン様式を選択します。
4.3 オルガン様式を参照してください。
2. MENUボタンを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイに Reverb を表示させます。
4. ENTERボタンを押します。現在のリバーブ(教会名と地名)
がディスプレイに表示されます。
5. - / + ボタンで変更したいリバーブを選びます。
6. ENTERボタンを押して確定します。
7. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Reverb

Oude kerk
Amsterdam (Def.)

Notre Dam
Paris



ENTER(またはSET)ボタンを押しながらREV.ボタンを押すことでもリバーブメニュー
にアクセスできます。

5.3 オーケストラ音色 (Orchestra)

パンフルートとトランペットはそれぞれのボタンで別々にオン・オフできます。これらの音色は別の手
鍵盤や足鍵盤に割り当てることができます。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに Orchestra を表示させ
ます。
3. ENTERボタンを押します。ディスプレイの下段には楽器名
が表示されます。- / + ボタンで楽器名を変更して、ENTER
ボタンを押して確定します。
4. 表示されている楽器を割り当てたい手鍵盤または足鍵盤
を押し、ENTERボタンを押して確定します。
5. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Orchestra

Orchestra
Panflute

Panflute
Assigned: Great



ENTER(またはSET)ボタンを押しながらPANFL.またはTRUMP.ボタンを押すこと
でもオーケストラ音色メニューにアクセスできます。

5.4 音律 (Temperaments)

音律を設定します。下記の11種類から選択できます。

- 平均律 Equal (標準の音律)
- ヤング II Young II
- ヴァロツティ Vallotti
- キルンベルガー III Kirnberger III
- キルンベルガー II Kirnberger II
- ナイトハルト III Neidhardt III
- ヴェルクマイスター III Werckmeister III
- 1/6 ミーントーン 1/6 Meantone
- 1/5 ミーントーン 1/5 Meantone
- 1/4 ミーントーン 1/4 Meantone
- ピタゴリアン Pythagorean

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに Temperaments を表示させます。
3. ENTERボタンを押します。現在設定されている音律がディスプレイに表示されます。
4. - / + ボタンで、希望する音律(11種類)を選び、ENTERボタンを押して確定します。
5. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Temperaments

Temperaments
Equal

Temperaments
Kirnberger III



この設定は記憶されません。電源をオフにして再度オンにすると、平均律に戻ります。

5.5 チューニング (Tuning)

ピッチを変更します。426Hzから454Hzまで (標準=440Hz) 1Hz単位での設定が可能です。

設定したピッチはディスプレイのトランスポーズ表示の右に表示されます。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに Tuning を表示させます。
3. ENTERボタンを押します。現在設定されているピッチがディスプレイに表示されます。
4. - / + ボタンで、ピッチを変更し、ENTERボタンを押して確定します。
5. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Tuning

Tuning
440 Hz

Tuning
442 Hz



ENTER(またはSET)ボタンを押しながらTRANS.ボタンを押すことでもチューニングメニューにアクセスできます。

5.6 ヘッドフォン/Aux (Headphones/Aux)

このオルガンにはヘッドフォンと外部出力用の独立したボリュームとイコライザーが装備されています。ベースとブリリアンスは0 dBをフラットとして-6 dBから6 dBまで調整できます。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに Headphones/Aux を表示させ、ENTERを押します。
3. ディスプレイに Volume が表示されます。ボリュームを変更する場合は、このままENTERボタンを押します。ベースまたはブリリアンスを変更する場合は、- / + ボタンで Bass または Brilliance を選択してENTERボタンを押します。
4. - / + ボタンで値を変更します。Volumeは1%から100%まで変更できます。初期設定は85%です。BassとBrillianceは0.5 dB刻みで-6 dBから6 dBまで変更できます。
5. ENTERボタンを押して確定します。
6. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Headphones/Aux

Headphones/Aux
Volume

Headphones/Aux
Bass

Bass
0.0 dB

5.7 ベース/ブリリアンス (Bass/Brilliance)

このオルガンにはベースとブリリアンスの音量を、0 dBをフラットとして-6 dBから6 dBまで調整できる機能が装備されています。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに Bass/Brilliance を表示させ、ENTERを押します。
3. ディスプレイに Bass が表示されます。ベース音量を変更する場合は、このままENTERボタンを押します。ブリリアンス音量を変更する場合は、- / + ボタンで Brilliance を選択してENTERボタンを押します。
4. - / + ボタンで値を変更します。0.5 dB刻みで-6 dBから6 dBまで変更できます。
5. ENTERボタンを押して確定します。
6. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Bass/Brilliance

Bass/Brilliance
Bass

Bass
0.0 dB

5.8 デモ曲 (Demo Songs)

4種類のデモ曲を演奏することができます。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに Demo Songs を表示させ、ENTERを押します。
3. 最初の曲名がディスプレイに表示されます。このままENTERボタンを押すか、- / + ボタンで曲名を変更してENTERボタンを押します。

Johannus Menu:
Demo Songs

Demo Songs
Almachtige...

4. - / + ボタンで、Play one demo (選択した1曲のみを演奏する)または Play all demo's (全曲を演奏する)を選びます。
5. ENTERボタンを押すと、選んだデモ曲の演奏がスタートします。ディスプレイにデモ曲の曲名と作曲者名が表示されます。
6. デモ曲を止めるには0ボタンを押します。
7. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Almachtige..
Play one demo

5.9 システム設定 (System Settings)

よく使うメニューとは別に、システム設定のサブメニューが用意されています。

5.9.1 エクスプレッションペダル (Expression Pedal)

エクスプレッションペダルの機能を選択できます。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Expr. Pedals を表示させて、ENTERを押します。
4. 設定内容が表示されます。
Swell on Swell: エクスプレッションペダルで上鍵盤だけを調節します。
General Swell: 楽器全体の音量を調節します。
5. - / + ボタンで、どちらかを選択します。
6. ENTERボタンを押して、確定します。
7. MENUボタンを2回押して、ヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Expr. Pedals

Expr. Pedals
Swell on Swell

Expr. Pedals
General Swell

5.9.2 キーボード設定 (Keyboards)

鍵盤の働き(反応)を設定します。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Keyboard を表示させます。
4. ENTERボタンを押すと、最初の鍵盤が表示されます。
5. - / + ボタンで設定する鍵盤を選びます。
6. ENTERボタンを押すと、カーソルが下段に移動します。
7. - / + ボタンで、鍵盤の働き(反応)を選びます。
 - Automatic: 鍵盤は High に設定されています。
オーケストラ音色が使用されるときは、自動的に Velocity に設定されます。
 - High: 鍵盤の発音位置が浅くなります。

System Settings:
Keyboards

>Great
Automatic

Great
>Automatic

- ・Low: 鍵盤の発音位置が深くなります。
 - ・Velocity: 発音はタッチに反応します。
8. ENTERボタンを押すと設定が保存され、カーソルが上段に戻ります。
 9. 他の鍵盤も設定する場合は、6. に戻ります。
 10. MENUボタンを2回押して、ヨハネスメニューを終了します。

>Great
Automatic

5.9.3 オルガン様式初期設定 (Style Default)

オルガンの電源を入れたときに選ばれるオルガン様式を設定します。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Style Default を表示させて、ENTERを押します。
4. 初期設定のオルガン様式が表示されます。 - / + ボタンでオルガン様式を選択します。
5. ENTERボタンを押して確定するか、MENUボタンを2回押して、ヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Style Default

Style Default
Romantic

5.9.4 コーラスコントロール (Chorus Control)

オルガンの電源を入れたときにコーラスがオンかオフかを設定します。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Chorus Control を表示させて、ENTERを押します。
4. 現在の設定が表示されます。 - / + ボタンでオンかオフかを選択します。
5. ENTERボタンを押して確定し、システムセッティングメニューに戻ります。
6. MENUボタンを2回押して、ヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Chorus Control

Chorus Control
(default) On

5.9.5 風量 (Wind Distribution)

風量機能では、コーラス・オン時とコーラス・オフ時の風量を設定します。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Wind Distr. を表示させて、ENTERを押します。
4. コーラス・オンの場合は、ディスプレイにコーラス・オン時の風量が表示されます。 - / + ボタンで初期設定値 (88% Def.)を80%から100%の間で変更することができます。

System Settings:
Wind Distr.

Wind Distr.
CH on: 88% Def

5. コーラス・オフの場合は、ディスプレイにコーラス・オフ時の風量が表示されます。 - / + ボタンで初期設定値 (93% Def.)を80%から100%の間で変更することができます。
6. ENTERボタンを押して確定し、システムセッティングメニューに戻ります。
7. MENUボタンを2回押して、ヨハネスメニューを終了します。

Wind Distr.
CH off: 93% Def

5.9.6 キーボリューム (Key Volumes)

キーボリュームでは、ストップ(音色)ごとに各鍵の音量を調整します。
キーボリューム操作には次の3つがあります。

- Adjust / 調整
- Reset one stop / 1ストップのみリセット
- Reset ALL stops / 全ストップをリセット

調整 (Adjust)

調整機能では、各オルガン様式のストップごとに、各キーボリュームを設定できます。

1. 全ストップをオフにします。
2. オルガン様式を選択します。
3. MENUボタンを押します。
4. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
5. - / + ボタンでディスプレイ下段に Key Volumes を表示させて、ENTERを押します。
6. ディスプレイ下段に Adjust が表示されます。
7. ENTERボタンを押すと、Select a stop to adjust (調整するストップを選んで下さい) と表示されます。
8. 1つのストップを押して点灯させます。ディスプレイに press a key (鍵盤を押して下さい)と表示されます。
9. 任意の鍵盤を押したままにすると、ディスプレイに Key: と Vol: が表示されます。
10. - / + ボタンで希望する音量に設定します。
11. ENTERボタンを押して変更をセーブ(保存)します。
ディスプレイが確認を求めてきます。 - / + ボタンで No か Yes を選択します。
12. ENTERボタンを押して確定します。
13. MENUボタンを押してキーボリュームメニューに戻ります。
14. 変更をセーブしていない場合、ディスプレイに Discard changes?(変更を中止しますか?) と表示されます。変更を中止する場合は - / + ボタンで Yes を選んでENTERボタンを押します。

System Settings:
Key Volumes

Key Volumes
Adjust

Select a stop
to adjust

Key:press a key
Vol: -/+

Key: 3 C
Vol: 83 -/+

Save changes?
No/Yes

Key Volumes
Adjust

Discard changes?
No/Yes

15. 変更をセーブする場合は - / + ボタンで No を選んで ENTER ボタンを押します。
16. ENTER ボタンを押すと、ディスプレイが Save Changes? (変更をセーブしますか?) と表示されます。
17. - / + ボタンで Yes を選びます。
18. ENTER ボタンを押して確定します。
19. MENU ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Save changes?
No/Yes

Key:press a key
Vol: -/+



同じ操作により、他のキーや他のストップの音量を変更することができます。

各ストップのリセット (Reset one stop)

リセットワンストップは、1つのオルガン様式に対し、各ストップの鍵盤音量を初期設定 (工場出荷状態) に戻すための操作です。

1. 全ストップをオフにします。
2. オルガン様式を選択します。
3. MENU ボタンを押します。
4. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTER を押します。
5. - / + ボタンでディスプレイ下段に Key Volumes を表示させます。
6. ENTER ボタンを押します。
7. - / + ボタンでディスプレイ下段に Reset one stop を表示させます。
8. ENTER ボタンを押します。ディスプレイに Select a stop to reset (リセットするストップを選んで下さい) と表示されます。
9. 任意のストップをオンにします。
10. ディスプレイが確認を求めてきます。
- / + ボタンで No か Yes を選択します。
11. ENTER ボタンを押して実行し、キーボリュームメニューに戻ります。
12. MENU ボタンを2回押してヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Key Volumes

Key volumes
Reset one stop

Select a stop
to reset

Reset this stop?
No/Yes

Key volumes
Reset one stop

全ストップのリセット (Reset ALL stops)

リセットオールストップは、1つのオルガン様式に対し、全ストップの鍵盤音量を初期設定 (工場出荷状態) に戻すための操作です。

1. オルガン様式を選択します。
2. MENU ボタンを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTER を押します。

4. - / + ボタンでディスプレイ下段に Key Volumes を表示させます。
5. ENTERボタンを押します。
6. - / + ボタンで、ディスプレイに Reset ALL stops を表示させます。
7. ENTERボタンを押します。
8. ディスプレイが確認を求めてきます。 - / + ボタンで No か Yes を選択します。
9. ENTERボタンを押して実行し、キーボリウムメニューに戻ります。
10. MENUボタンを2回押してヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Key Volumes

Key Volumes
Reset ALL stops

Reset ALL stops?
No/Yes

Key Volumes
Reset ALL stops

5.9.7 Aux-inリバーブ (Aux-in Reverb)

Aux-inリバーブ機能では、外部入力された音に対するリバーブ(残響)のかかり具合を調整します。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Aux-in Reverb を表示させて、ENTERを押します。
4. リバーブの値が表示されます。 - / + ボタンで0%から100%まで調整できます。
5. ENTERボタンを押して確定するか、MENUボタンを押して変更せずに戻ります。
6. MENUボタンを2回押してヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Aux-in Reverb

Aux-in Reverb
0%

5.9.8 ディスプレイ コントラスト (Display Contrast)

ディスプレイ表示の濃淡が調整できます。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Display Contrast を表示させます。
4. ENTERボタンを押します。
現在設定されているコントラストレベルが表示されます。
5. - / + ボタンで希望するコントラストレベルを1から15の間で選びます。
6. ENTERボタンを押して確定し、システムセッティングメニューに戻ります。
7. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Display Contrast

Display Contrast
Level: 9

5.9.9 データダンプ (Datadump)

データダンプは、オルガンから記録機器(例えば、シーケンサー)に、MIDI OUT端子からオルガンの設定を送信する操作です。3.4 外部接続を参照して下さい。送信できる設定は、キャプチャーメモリーの内容と、キーボリュームを除くメニューの設定です。

オルガンからのデータ送信

1. MENUボタンを押します。
2. -/+ ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. -/+ ボタンでディスプレイ下段に Datadump を表示させます。
4. ENTERボタンを押します。Press ENTER がディスプレイに表示されます。
5. 記録機器が正しく接続されていることを確かめます。
6. ENTERボタンを押します。データが転送されている間、Sending data... がディスプレイに表示されます。データ転送にしばらく時間がかかります。

System Settings:
Datadump

Datadump
Press ENTER

Datadump
Sending data...



Sending data... がディスプレイに表れている間はオルガンを操作しないでください。

7. データダンプが終了すると、ディスプレイはヨハネスメニューを表示します。
8. MENUボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Ambiance

オルガンへのデータ送信



オルガンへのデータ送信は、デモ曲を鳴らしているときを除き、オルガンの電源が入っていればいつでも可能です。



ヨハネスオルガンのデータのみ送信するようにしてください。関係のないデータを送信するとオルガンの機能を損なう恐れがあります。

1. 記録機器(例えばシーケンサー)が正しく接続されていることを確かめます。
2. データファイルを送信します。データファイルが受信されていることを示すメッセージがディスプレイに表示されます。
3. 受信が完了するとディスプレイには自動的にメインスクリーンが表示されます。

Uploading stored
data

Rom. Center ◀ 85
Tr:0/440 M 1

5.9.10 リセットメニュー (Reset Menu)

リセットメニューでは、様々な設定を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Reset Menu を表示させます。
4. ENTERボタンを押します。リセットメニューの最初の項目がディスプレイ下段に表示されます。
5. - / + ボタンでリセットしたい項目を選びます。
 - Expr. Pedals: エクスプレッションペダルの設定を初期設定に戻します。
 - Memory default: キャプチャーメモリーを消去します。
 - Orchestrals default: オーケストラ音色を初期設定に戻します。
 - Preset default: プリセットを初期設定に戻します。
 - Reverb default: リバースとアンビエンスを初期設定に戻します。
6. ENTERボタンを押します。
ディスプレイが確認を求めてきます。
7. - / + ボタンで No か Yes を選択します。
8. ENTERボタンを押すと、Reset(リセット)が実行されリセットメニューに戻ります。
9. MENUボタンを2回押してヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Reset Menu

Reset Menu
Memory default

Memory default
No/Yes

Reset Menu
Memory default

5.9.11 バージョン (Version)

このオルガンで使われているソフトウェアのバージョンナンバーが表示されます。

1. MENUボタンを押します。
2. - / + ボタンでディスプレイに System Settings を表示させて、ENTERを押します。
3. - / + ボタンでディスプレイ下段に Version を表示させます。
4. ENTERボタンを押します。
ソフトウェアのデータがディスプレイに表示されます。
5. MENUボタンを2回押してヨハネスメニューを終了します。

System Settings:
Version

9881 XXX 7.1.x
OC X XX XX XX

6 メンテナンス、トラブルシューティング、保証

6.1 メンテナンス

	メンテナンス	頻度
キャビネット	クリーニング方法は § 6.1.1 を参照。	必要に応じて
鍵盤	クリーニング方法とキズの除去については § 6.1.2 を参照。	必要に応じて

6.1.1 キャビネットのお手入れ



キャビネットのお手入れに家具用ポリッシャーやチークオイルは使用しないで下さい。直射日光はキャビネットを変色させることがあります。

1. キャビネットは湿った布で汚れを落します。
2. 糸くずが出ない乾いた布で拭き取って下さい。

6.1.2 鍵盤のお手入れ

鍵盤は合成樹脂で出来ています。



汚れ落としに、シンナーやアセトンなどは使用しないで下さい。

1. 鍵盤は湿った布で汚れを落します。
2. 糸くずが出ない乾いた布で拭き取って下さい。
3. 引っかきキズは車のワックスでとります。

6.2 不具合

不具合	原因	処置
足鍵盤の音が出ない。	足鍵盤のマグネットがフロントカバーの内側のリードスイッチに正しく作用していない。	足鍵盤を正しくセットし直して下さい。 § 2.1.3 参照。
オルガンが正しく作動しない。	オルガンの電源がアースされていません。	オルガンをアースの取れる電源に接続して下さい。

6.3 保証

保証内容は保証書に説明されているとおりです。ヨハネス社の認めていない者が、オルガンを改造・修理した場合、保証は無効となります。

7 MIDI インプリメンテーション (MIDI IMPLEMENTATIONS)

7.1 MIDI インプリメンテーションチャート (MIDI Implementation Chart)

JOHANNUS Organs

Date: September 2008

MIDI Implementation chart

Version 1.00

Functions		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changes	See MIDI Specs See MIDI Specs	See MIDI Specs Y ¹	See MIDI Specs
Mode	Default Messages Altered	Mode 3 N *****	Mode 3 N N	
Note Number	True Voice	36-96 *****		
Velocity	Note ON Note OFF	9nH v=1-127 9nH (v=64) 9nH (v=0)	9nH v=1-127 9nH v=1-127 9nH v=0, 8nH v=*	Velocity ON Velocity OFF *=irrelevant
After Touch	Keys Channels	N N		
Pitch Bend		N		
Control Change	7 11 100/101/6 100/101/6	Y Y Y Y		General Volume Expression Pedals Pitch Transpose
Program Change	:True#	See MIDI Specs *****	See MIDI Specs See MIDI Specs	See MIDI Specs See MIDI Specs
System Exclusive		See MIDI Specs	See MIDI Specs	See MIDI Specs
Common	:Song Pos :Song Sel :Tune	N N N	N N N	
System Real Time	:Clock :Commands	N N	N N	
Aux	:Reset All Controller :Local ON/OFF :All Notes OFF :Active Sense :Reset	N N Y N N	N N Y N N	
Notes	¹ Depends on number of divisions			

Mode 1: OMNI ON, POLY

Mode 2: OMNI ON, MONO

Y=YES

Mode 3: OMNI OFF, POLY

Mode 4: OMNI OFF, MONO

N=NO

7.2 MIDI 仕様 (MIDI Specifications)

MIDI インプリメンテーションチャートの仕様について詳しく説明します。

初期設定 基本チャンネル(送信/受信) Default basic channels (transmitted/recognized)

- 1: Great
- 2: Swell
- 3: Pedal
- 12: Stops

コントロール チェンジ(送信) Control changes (transmitted)

- Controller 7 (07h) ボリューム、可変値: 40 (28h) – 127 (7Fh)
- Controller 11 (0Bh) エクスプレッションペダル、可変値: 55 (37h) – 127 (7Fh)
- Controller 6 (06h) ピッチ、可変値: 28 (1Ch) – 99 (63h)
ピッチ: 64 (40h) = A = 440Hz.
ピッチの適用:
LSB 100 (64h) 1 (01h) と MSB 101 (65h) 0(00h).
トランスポーズ、可変値: 56 (38h) – 72 (48h)
トランスポーズ: 64 (40h) = a = 440Hz
トランスポーズの適用:
LSB 100 (64h) 2 (02H) と MSB 101 (65h) 0(00h).

コントロール チェンジ(受信) Control changes (recognized)

- Controller 7 (07h) ボリューム、可変値: 0 (00h) – 127 (7Fh)
40(28h)以下の値は、40 (28h)とみなします。
- Controller 11 (0Bh) エクスプレッションペダル、可変値: 0 (00h) – 127 (7Fh).
55 (37h)以下の値は、55 (37h)とみなします。

プログラムチェンジ(送信/受信) Program changes (transmitted/recognized)

オルガンストップ: ストップの番号とストップの並びにより決定されます。

システムエクスクルーシブメッセージ(送信/受信) System exclusive messages (transmitted/recognized)

各エクスクルーシブメッセージは、大部分が同じように見えます。1~7バイトと最後のバイトは全て同じです。8番目のバイトだけが異なります。ヨハネスが普通に使用しているエクスクルーシブメッセージは: F0 00 4A 4F 48 41 53 XX F7 (16進法)です。8番目の値と、その機能について以下に説明します。

全ストップオフ All stops off

全ストップオフのエクスクルーシブコードは7Fです。このエクスクルーシブコードは、MIDIシーケンサーに対し 0 ボタンを長く押した場合に出力されます。全ストップオフのコードを受け取った場合、楽器の全ストップがスイッチオフとなります。

他のMIDIコード(送信) Other MIDI codes (transmitted)

0 ボタンが押された場合は、all stops off (全ストップ オフ) と全ての音量セッティング情報がMIDI OUT端子から送信されます。

JOHANNUS 総輸入元
株式会社 河合楽器製作所

本社 古典楽器担当
〒430-8665 浜松市中央区寺島町 200
Tel:053-457-1266 Fax:053-457-1303

東京オフィス
〒140-0002 品川区東品川 4-10-27
Tel:03-6718-4169 Fax:03-6712-8125